

一級河川湯川における 多自然川づくりについて ～「信州のいい川づくり」モデル事業～

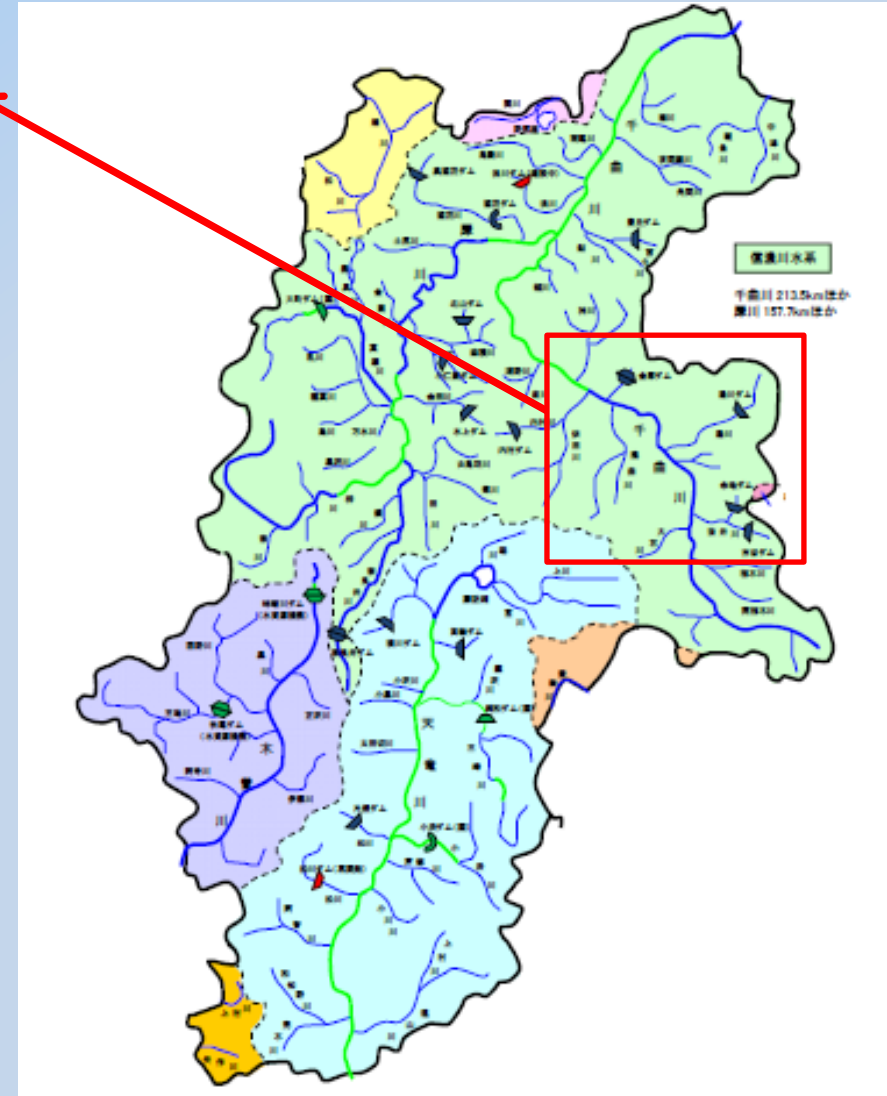
- 河川概要
- 「信州のいい川づくり」について
- 整備箇所「広戸橋上」の状況について
- 検討の流れ
- 詳細設計
- 整備状況
- モニタリング調査
- 今後の課題



長野県佐久建設事務所

中山 剛

河川概要 ～ 湯川 ～



- 対象水系 : 信濃川水系
- 流域面積 : 212km²
- 流路延長 : 37km

湯川上流部



「白糸の滝」



「千ヶ滝」



「湯川ダム」

整備箇所



「信州のいい川づくり」モデル事業

- 最新の多自然川づくりの考え方を取り入れる
- 地域の特色を活かした河川改修を推進
- 若手職員の河川事業に係る知識の向上
- 県単独費による事業執行
- 概ね5年程度で工事完了が見込める箇所
(総事業費1億円以下)

いい川づくり選定要件

- 動植物の生息環境に配慮し、最新の「多自然川づくり」の考えを取り入れるもの
- 地域の暮らしや歴史・文化と結びついた川づくりを目指し、景観・親水性等に配慮するもの
- 地域の特色を反映させた改修を実施するもの
- 計画策定、維持管理、地域イベントでの活用など地域住民の参加が見込めるもの
- 総事業費 1 億円以下

遠山川 3箇所を選定（佐久、松本、飯田） 保福寺川

実施箇所

(一) 湯川 御代田町 広戸橋上



広戸橋上の特徴

- 多自然川づくりの取組みへの自由度が高い
- 自然豊かで良好な河川環境
- 溪流釣り、写生のポイント
- 制約条件が少ない（用地・地元が協力的）
- 公園（町）が隣接している

これまでの経過

平成24年	「信州いい川づくり」事業採択
平成25年	佐久漁協、県環境保全研究所意見聴取
平成26年	測量・概略設計業務委託
平成27年	有識者意見聴取 概略設計小規模修正業務委託
平成28年	詳細設計業務委託・有識者意見聴取 上流護岸工事
平成30年	工事完了
令和元年	台風19号により被災
令和4年	モニタリング調査（現在実施中）

「湯川いい川づくり」検討の流れ～広戸橋上～

情報収集

- ・ 治水目標、地域情報、河道形状、地質等

現地踏査

- ・ 保全すべき環境特性等の確認
- ・ 現地の良いところ、悪いところを見つける

目標設定

- ・ 整理した情報から目標（案）を抽出
- ・ どのような空間にするか検討

具体化

- ・ 目標達成のためのアイデアを発想、整理し採用案を決定



詳細設計の基本情報とする

広戸橋





漁協組合意見聴取（若手） H25.9.5



力だめし
明るいま
明るいま
正月竹馬
正月竹
新年計画
理想の実現
平和の共存
開拓の精神
試筆画新甲辰
琴和古松
琴和古松

2
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28



意見聴取・現地踏査から得られた情報

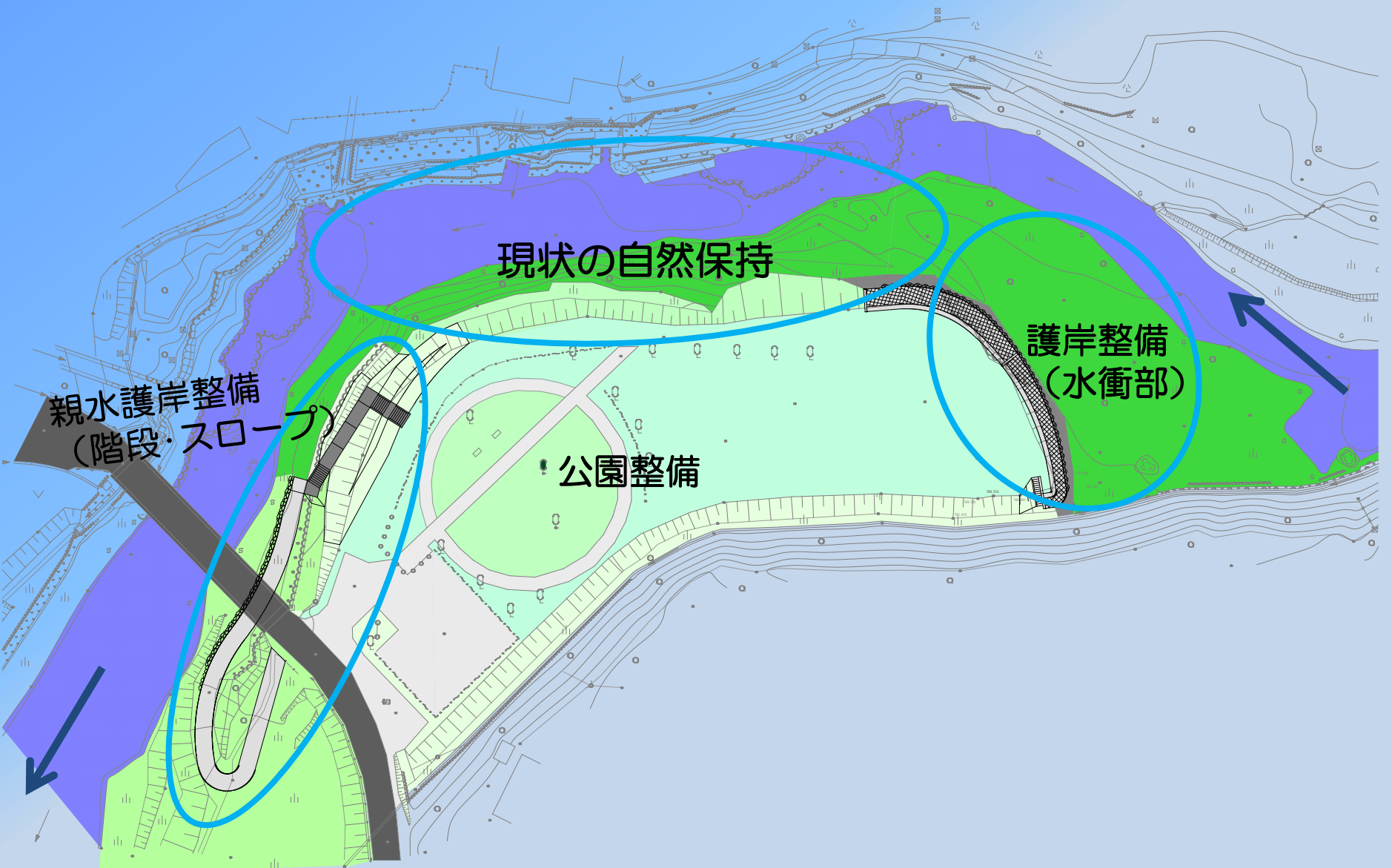
- 現状でも自然豊かで、良い河川環境
- 広戸橋にて稚魚の放流は年数回行っている
- 広戸橋から下流は釣り人が多く集まる
- 河道形態、河床は無理に弄らないほうがいい
- 下流部は水が豊富
- 周辺にホタルが生息している
- スロープがあると人を誘導できる
- 公園にあずまや、トイレがあると人が集まる
- 広戸橋（景観）を活かす河川整備が望ましい

目標設定・具体化



「豊昇ふるさと公園」と地域の川「湯川」が交差・融合
人と自然（水）が出会える場となる公園から連続した川辺を整備

計画図



○完成後写真 (R元.5.22撮影)



○完成後遊歩道写真（R元.5.22撮影）



モニタリング調査について

- 調査方法

河川空間利用実態調査

訪れた人からアンケート調査を実施。

定点観測項目

場所	利用形態	調査時刻					
		7～9時	9～11時	11～13時	13～15時	15～17時	
右岸	湧水地	水遊び					
		散策・その他					
	堤防	散策・その他					
		水際	釣り				
		水遊び・その他					
水面		水上スポーツ					
		水泳・その他					
		釣り					
左岸	水際	釣り					
		水遊び・その他					
	公園	スポーツ					
		散策・その他					
その他（橋上）	散策・その他						

調査実施日

季節	実施日	
春季	平日（イベント日）	5月2日（月）（漁協 公開開放日）
	休日	5月5日（こどもの日）
	平日	5月24日（火）
夏季	平日	8月9日（火）
	休日	8月11日（山の日）
秋季	休日	9月17日（土）
冬季	休日	今後実施予定

モニタリング調査について

・調査結果（抜粋）

1. 釣り客が増加。放流日には100人前後集まる。
階段・スロープ整備により、釣り初心者も集まる
2. スロープが整備されたことにより、子供連れ親子や車イスの方が川とふれあいに訪れた。
3. バリアフリー化により年配の方にも利用しやすくなった。
4. 水量が多いため、釣りには適しているが、子供の水遊びには不適。





今後の課題

1. モニタリング調査結果の活用
2. 草刈り等の維持管理について
3. 公園の整備（町と協議）
 - ・トイレ、水道整備等
 - （釣りや稚魚の放流などの利用客多数）

○草刈り状況写真（R4.7.7撮影）





湯川トラウトパーク軽井沢 エリアマップ

トラウトパーク軽井沢 エリア案内

トラウトパークは上流部、発電所上の用水取水堰堤から橋までの間は、湖のエリアで流れを探る釣りが面白い。

トラウトゲートブリッジ周辺は流れが二つに分かれ、右岸左岸どちらも楽しめる。

さらに下流はテトラの深瀬となり、草越えの深瀬の次は草越えの淵がある。

さらに下流には藤棚前の深瀬と続き、以降は瀬と深瀬が交互に現れ、キャザリンポイントを通るとダムの上流側となる。

エリアの流程は約4kmで、全域で泳ぐ魚の姿が確認でき、1日を過ぎて魚と触れあえるエリアになりました。

ルアー、フライフィッシングにご協力下さい。
佐久漁業協同組合

注意：河川敷内の道路は工事のため大型車が往来するので駐車禁止です。

ビオトープ、トラウトパーク 一体とした利用のサイン計画



御清聴ありがとうございました